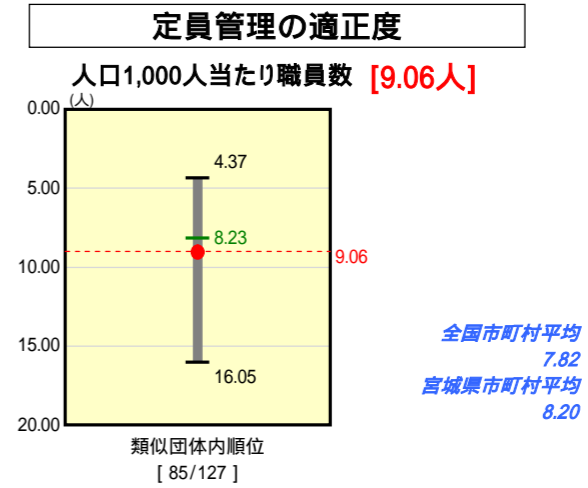
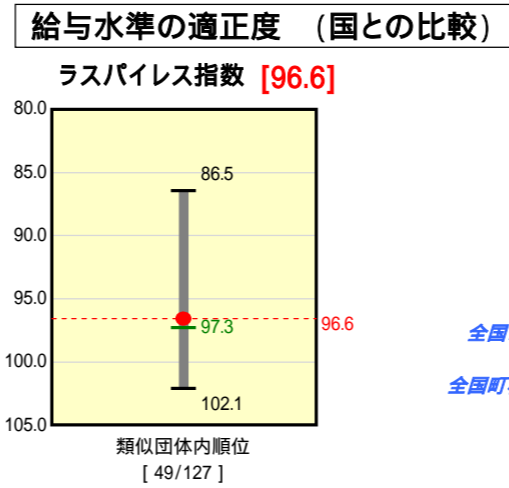
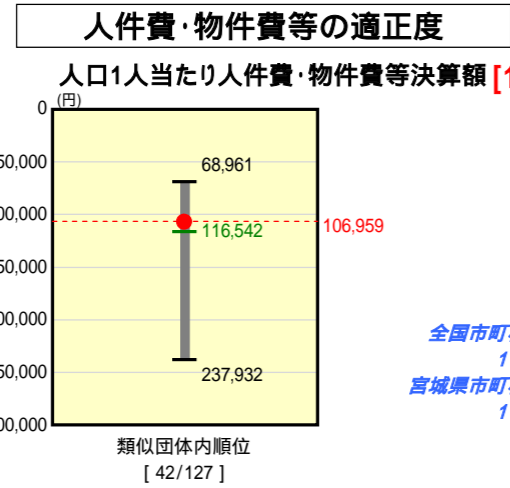
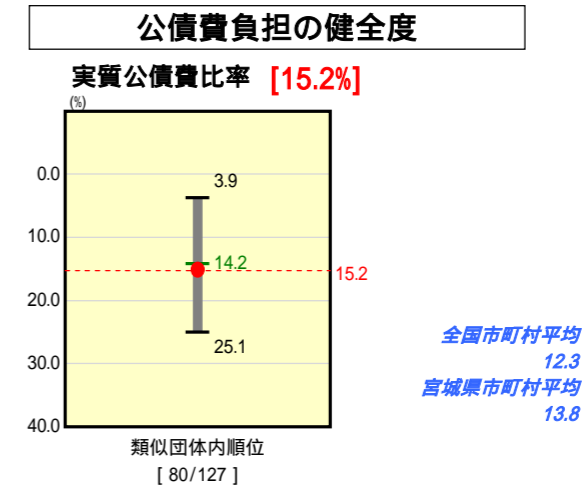
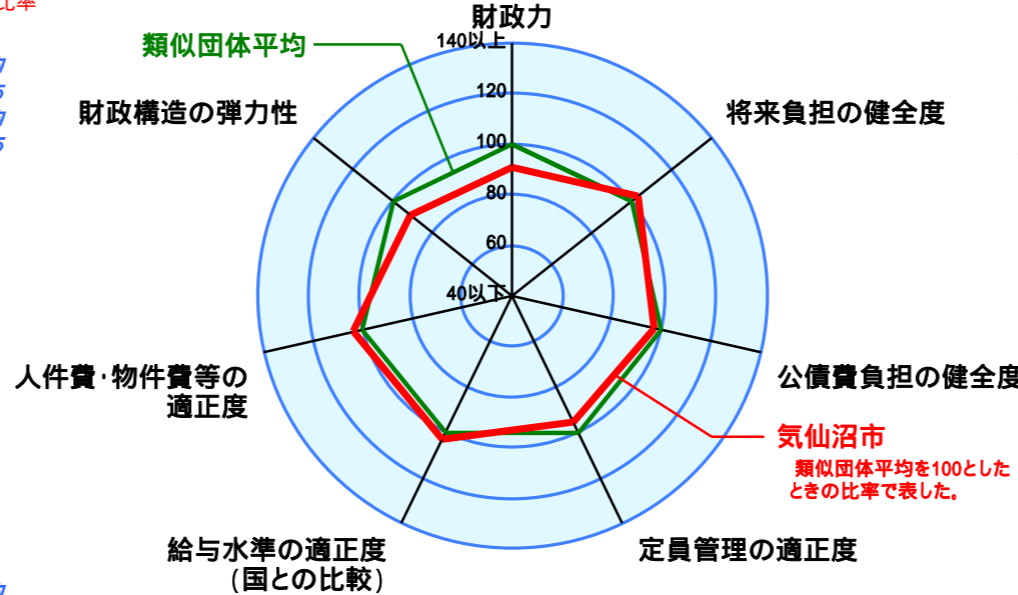
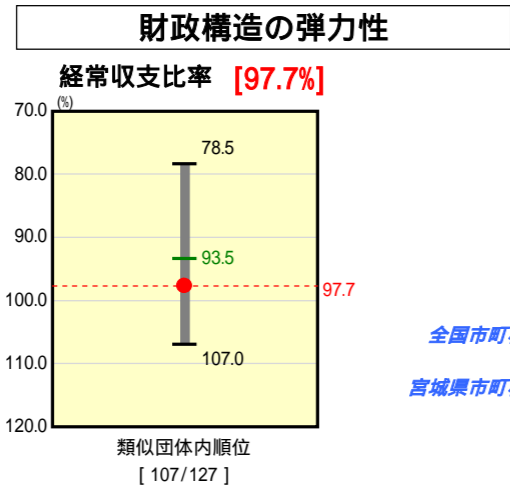
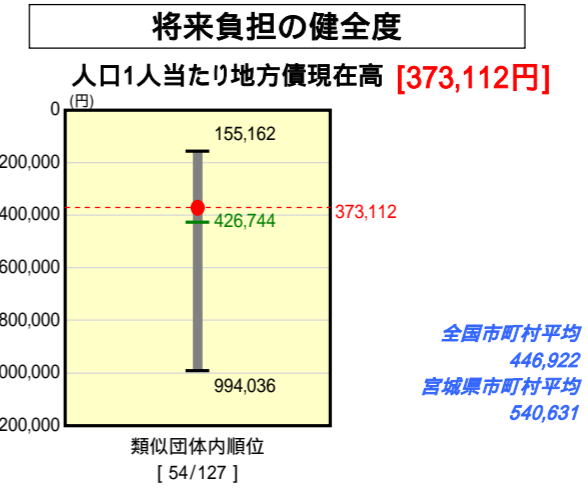
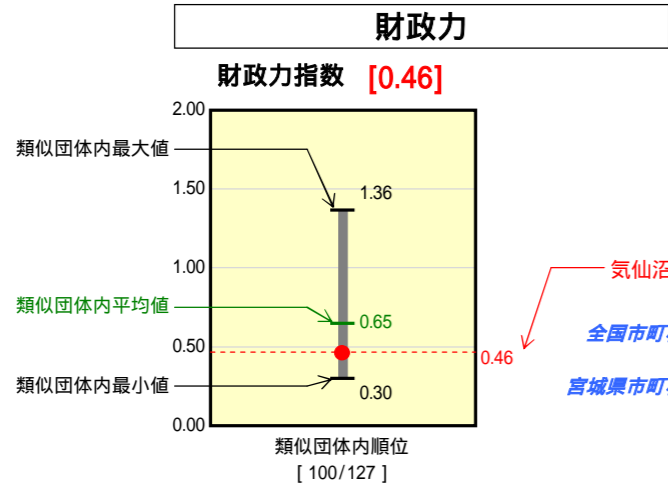


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 宮城県 気仙沼市

人口	65,225	人(H20.3.31現在)
面積	226.67	km <sup>2</sup>
歳入総額	20,714,854	千円
歳出総額	20,276,947	千円
実質収支	415,072	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数** 全国的な景気低迷に加え、本市経済を支える水産業を取り巻く環境は一層厳しさを増す中、雇用機会の喪失による所得低下や人口減少が進んだことなどから、市税の減少に歯止めがかからず、財政力指数は類似団体平均(0.65)を下回る0.46となった。集中改革プラン等に基づき、職員数の削減や事務事業の見直し、市税の収納率向上対策等により歳入の削減・歳入の確保に努める。

**経常収支比率** 人件費・公債費の義務的経費と一部事務組合負担金等の補助費等の割合が高いため、経常収支比率は類似団体平均(93.5%)を上回る97.7%となった。集中改革プラン等に基づき、職員数の削減や施設運営管理の民間委託、各種補助金の見直し等により経常経費の抑制に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額** 類似団体平均に比べ数値は低くなっている。市町村合併の効果を最大限に生かしながら、今後とも業務の民間委託など人件費・物件費等のコスト軽減を図っていく。

**人口1人当たりの地方債残高** ここ数年の起債抑制により、公債費は着実に減少してきたが、今後、合併特例債充当事業実施により、残高の増加が予想される。起債に大きく依存することのないよう、適切な財政運営に努める。

**実質公債費比率** 過去に起こした起債の償還がピークの時期であり、実質公債費比率は類似団体平均(14.2%)を上回る15.2%となった。今後数年、起債償還は高止まり傾向が続くと見込まれ、更に合併特例債充当事業実施により、残高の増加が予想されるが、起債に大きく依存することのないよう、適切な財政運営に努める。

**人口1,000人当たり職員数** 平成18年3月31日の1市1町の合併により、類似団体平均(8.23人)を上回る9.06人となっている。平成21年9月1日の隣町との2次合併により、数値の上昇が予想されるが、合併効果を高めるため、類似団体平均に近づくよう職員数の削減を行っていく。

**ラスパイレス指数** 類似団体平均より下回っている。